

児童発達支援・放課後等デイサービス 自己評価および保護者評価 総括

1. はじめに

この報告書は、当事業所「みやのだい SEEDS」が実施した自己評価および保護者評価（別紙）の結果をまとめたものです。

今回の評価では、各項目を5段階評価で細かく分析いたしました。評価点については、以下の基準で設定し、皆様に現状をより明確にお伝えできるよう努めております。

- 10点：とても思う / よくできている
- 8点：思う / できている
- 5点：どちらともいえない / 普通
- 2点：思わない / あまりできていない
- 0点：全く思わない / まったくできていない

この評価基準により、皆様からいただいた貴重なご意見と職員の自己評価を照らし合わせ、当事業所の支援がどこまで浸透しているか、そしてどのような点に課題があるかを具体的に把握することができました。この結果を真摯に受け止め、今後の運営に反映させてまいります。

2. 児童発達支援 保護者評価結果の概要

対象保護者様：7名中6名にご回答いただきました（回答率：85.7%）

児童発達支援の保護者評価では、当事業所の支援に対し、全体的に非常に高いご満足をいただけていることが示されました。「職員から共感的に支援をされているか」「お子様が安心感をもって通所しているか」の項目では、全ての保護者様から「とても思う」との温かいお言葉をいただき、日頃の支援の成果を実感しております。

保護者様からの主なご意見と当事業所の対応：

- 「利用人数に対してとても手厚い」との評価をいただき、感謝申し上げます。今後も小集団でのきめ細やかな支援を意識し、お子様一人ひとりに寄り添った家庭的な温かさを兼ね備えた支援を心がけてまいります。
- 施設環境について「一軒家で老朽化もあり、駐車場やバリアフリー面は難しい」とのご意見をいただきました。お子様が安全に快適に過ごせるよう、できる限りの環境整備に努めてまいります。今後もお気づきの点がございましたら、遠慮なくお申し付けください。
- 「拠点を使いつつ、課外活動、社会活動の充実、幅広い活動内容に大変感謝」とのお言葉をいただき、職員一同大変嬉しく思います。お子様が社会とのつながりを持ち、様々な経験を通して成長できるよう、今後も多様なプログラムを提供してまいります。
- 「家族支援プログラムや保護者様同士の交流機会が少ない」とのご意見（総合点7.2点、6.2点）については、当事業所でも課題として認識しております。今後は土曜日の

活動などを通じてご家族にもご参加いただける機会を増やし、保護者様同士の交流の場も積極的に設けてまいります。

- 幼稚園との連携に関して、「幼稚園の先生達とシーズの先生達が、忙しい中でも効率よく連携がとれることを望む」との貴重なご提案をいただきました。現在、グループウェアを通じた情報共有を強化しており、全職員が週に一度は幼稚園の朝の会議に参加し、直接コミュニケーションを取る機会も設けております。お子様の園での様子をより詳細に把握し、支援に活かせるよう、一層の連携強化に努めてまいります。

3. 放課後等デイサービス 保護者評価結果の概要

対象保護者様：2名中1名にご回答いただきました（回答率：50%）

放課後等デイサービスの保護者評価では、回答者数が1名ではございますが、全ての項目において「とても思う」または「思う」との評価をいただきました。特に「環境・体制整備」「適切な支援の提供」「保護者への説明等」「非常時等の対応」「満足度」の全てのカテゴリで高評価を頂戴いたしました。

4. 放課後等デイサービス 自己評価（職員評価）結果の概要

評価実施職員：4名

放課後等デイサービスの自己評価（職員評価）では、職員が日々の業務や提供する支援について高い専門性と責任感を持って取り組んでいることが伺える結果となりました。多くの項目で平均9.0点以上の高評価となっています。

職員が認識している主な課題と改善への方向性：

- 「生活空間の構造化、バリアフリー化」の項目では平均7.5点と、他の項目と比較してやや低い評価が見られました（職員間で0点～10点のばらつきがあります）。当事業所は一軒家という特性上、バリアフリー面での制約があることを職員も認識しており、お子様の安全と利便性を両立させるための工夫を継続して検討してまいります。
- 「第三者による外部評価」の項目も平均7.5点であり、今後、外部の視点を取り入れた評価機会の確保に積極的に取り組んでいく必要があると考えております。
- 特に重要視している「就学前から障害福祉サービス事業所等への移行支援」の項目では、平均6.7点と最も低い評価となりました。これは、お子様の将来を見据え、より円滑な移行支援体制を整備していく必要性を職員全員が強く感じていることの表れです。関係機関との連携をさらに密にし、個別支援計画に基づいた移行支援を強化してまいります。
- 「地域との関係機関との連携」（保健、医療、障害福祉、保育、教育など）や「放課後児童クラブ、児童館との交流機会」についても、一部職員から「できている」（8点）の評価が見られ、さらなる連携強化の余地があると認識しております。地域全体でお子様を支える体制を構築するため、より積極的な働きかけを行ってまいります。

- 「家族支援プログラムや保護者会等の開催」の項目も平均7.5点（職員間で2点～10点のばらつきがあります）であり、保護者様へのアンケート結果とも共通する課題として、保護者様同士の交流機会の創出と家族支援の充実が求められていることを再認識しました。
 - 「事故防止マニュアル等の周知・訓練実施」の項目で平均7.5点と、職員間で評価のばらつきが見られました。これは、マニュアルの浸透度や訓練の実施頻度について、職員間の共通認識をさらに高めていく必要があることを示唆しており、定期的な確認と徹底を図るため次年度は年間計画でもお知らせしてまいります。
-

5. 保護者評価と職員評価の比較分析（放課後等デイサービス）

放課後等デイサービスにおける保護者様からの評価は、限られた回答数ではありますが、当事業所の支援に対する非常に高い満足度を示しています。一方、職員の自己評価も全体的に高水準でしたが、いくつかの項目において保護者様との認識の差や、職員間での評価のばらつきが見られました。この差こそが、私たちが今後の改善に取り組むべき重要なポイントであると捉えております。

- 施設環境（バリアフリー・構造化）：保護者様からは満点評価をいただきましたが、職員からは平均7.5点と、施設の構造的な課題を認識している声がありました。保護者様はお子様の過ごしやすさを重視されている一方で、職員は専門職として、より理想的な環境整備の必要性を感じていると考えられます。今後も安全性を確保しつつ、お子様にとってより快適でわかりやすい環境づくりに努めてまいります。
- 家族支援・保護者交流の機会：保護者様からも具体的なご意見はありませんでしたが、職員評価で改善の余地があるとの認識（平均7.5点）が示されました。この点は、保護者様の潜在的なニーズに応えるべく、今後さらに力を入れていくべき分野と捉えております。
- 外部連携・移行支援：保護者評価では特段の指摘はありませんでしたが、職員評価では「就学前から障害福祉サービス事業所等への移行支援」が最も低い評価でした。これは、保護者様が直接的に関わる機会が少ない部分であるため、認識の差が生じたと考えられます。職員は、お子様の長期的な成長を見据えた支援の必要性を強く感じており、当事業所としても重点的に取り組んでまいります。
- 非常時等の対応・訓練：保護者様からは満点評価をいただきましたが、職員評価では「事故防止マニュアル等の周知・訓練実施」において、職員間で認識にばらつきが見られました。保護者様には安心感を持っていただいている一方で、職員間でのマニュアルの浸透度や訓練の質の向上が、さらなる安全確保のために必要であると認識し、徹底してまいります。

これらの分析から、保護者様は非常にご満足いただいている一方で、職員は事業所運営の観点から、さらなる質の向上に向けた課題を明確に認識していることが明らかになりました。私

たちは、この職員の「もっと良くしたい」という意欲を原動力に、始まったばかりですが、ここから継続的に改善と向上を目指していきます。

6. 今後の改善に向けた取り組み

今回の自己評価および保護者評価の結果を真摯に受け止め、当事業所は以下の点に重点を置き、サービスの質のさらなる向上に努めてまいります。

1. 施設環境の継続的な改善： 駐車場やバリアフリー面における課題について、お子様の安全と快適性を最優先に、可能な限り改善策を検討し、実行してまいります。
2. 家族支援・保護者交流の積極的な推進： 土曜日の活動等にご家族にご参加いただける機会を増やすとともに、保護者様同士が安心して交流できる場を積極的に設けてまいります。
3. 地域連携の強化と移行支援の充実： 特にお子様の卒業後の移行支援について、学校や他の障害福祉サービス事業所等の関係機関との連携をさらに密にし、お子様の将来を見据えたより円滑な支援体制を構築してまいります。
4. 職員の専門性向上と連携強化： マニュアルの周知徹底や訓練の実施状況について、職員間の共通認識を深め、継続的な研修を通じて質の高い支援を提供できるよう、職員全体のスキルアップに努めてまいります。
5. 幼稚園との一層の連携強化（児童発達支援）： グループウェアを活用した情報共有に加え、職員が幼稚園の会議に定期的に参加することで、幼稚園と当事業所が連携を深めてまいります。

当事業所は、「みやのだい SEEDS」をご利用いただく全てのお子様と保護者の皆様が、安心して笑顔で毎日を過ごせるよう、職員一同、第三の居場所としての安心感、その中から自分を知り、自己肯定感を培うことができるよう、より一層の努力を重ねてまいります。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

公表日：2025 年 7 月 1 日

事業所名：多機能事業所 みやのだい SEEDS

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：

事業所名：児童発達支援 多機能事業所 みやのだいSEEDS

対象人数（保護者）7人、回答者数 6人、回収 85.7%

		チェック項目	総合点	とても 思う	思う	どちら ともい えない	思わな い	全く思 わない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9.3	4	2					
	2	職員の数配置は適切であると思いますか。	9.7	5	1				利用人数に対してとても手厚い	今後も小集団を意識し、小集団ならではの家庭的なあたかさを兼ね備えた支援を心がけていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8.0	3	1	2			こどもにとっては分かりやすいが、他施設と比較すると、一軒家で老朽化もあり、駐車場やバリアフリー面は難しい。	安全に過ごせるようにできる限りのことをして参ります。今後もお気づきの点があれば教えて下さい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9.7	5	1					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9.3	4	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9.3	4	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9.7	5	1					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9.3	4	2					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9.3	4	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9.7	5	1				拠点をいくつか、課外活動、社会活動の充実、幅広い活動内容に大変感謝。	小さくても社会とのつながりをもち、社会での経験が増えることを大事にしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8.5	3	2	1			地域のお店におやつを買いに行く機会はあると思う。	支援外ではありますが、こども食堂など交流の拠点としても協賛していくこととしました。そこでのつながりなどからも支援内で交流できるように模索しています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9.7	5	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9.3	4	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7.2	2	1	3			まだ機会がないのでわからない 他施設でもこの機会は中々ない、希望に応じて面談の頻度が高いので家族支援が手厚いと感じます。	土曜などの活動を通じて家族参加も促していきます。また、面談は定期的にこちらから案内もしますし、いつでも応じられる体制にしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9.3	4	2				まだ始まって2ヶ月くらいなので先生方とこどもがお互いの理解を深めてくれている時期。保護者にはハグでフィードバックしていただいたり、必要に応じてこちらも返信し共通理解を深めています。	保護者の方のお話もとても支援の参考になり、こども理解の手がかりにもなり大事にしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8.3	4	1		1		ありがとうございます。	定期的にごこちらからアウンスしていきます。いつでもお受けいたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10.0	6						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	6.2	2		3	1		まだ機会がないのでわからない 始まったばかりなのでこれからかと思います。	土曜などの活動を通じて家族参加も促していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	8.5	3	2	1			そのような事がまだないのでわからない	苦情相談窓口を設置していますが、何か有りましたらお気軽に施設宛にご連絡ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10.0	6						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9.7	5	1				ブログの更新を楽しみに見えています ハグで日々全体の活動内容も記載していたいたるので大変感謝、写真もありがとうございます。	日常の活動を写真付きで掲載しています。業務負担にならないように一言のこともあるかもしれませんが、写真とコメントを添えて更新していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8.0	3	1	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9.0	3	3					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8.2	2	3	1			わからない 避難訓練などこれからあるかと思います。	避難訓練は7月に実施します。12月にも行います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9.0	3	3					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8.0	3	1	2			まだそのようなことがないのでわからない まだそのような怪我もないです。	怪我や打撲が発生した場合は、見える見えないに関わらず必ずお伝えいたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10.0	6						
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9.7	5	1				シーズが1番好きです。	子ども自身が「自分を知る」ことができるように支援を心がけています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9.3	4	2				シーズを立ち上げてくれて先生方に大変感謝です。 彼を思いすと、右園児は幼稚園との連携がメロトの一つだと思いますが、幼稚園の先生達とシーズの先生達が、忙しい中でも効率よく連携がとれることを望みます。 特に今年度から完全縦割りになっていて変化がありました。ウィズをつかっているのですがその時のハグでも構わないので、先週の園での様子などを担任やグレードの先生からの話しを、無ければない構わないので聞いていただくと、なおより連携を感じるのかなと思います。 担任、グレード担任、シーズの先生と色々な視点で見えていただけて大変有難いので、今後とも園とシーズの子供に対しての共通認識を深めていただき、親にフィードバックしていただけると有り難いです。	幼稚園との連携は、手探りで始めましたが、今は毎回支援の度に、LINEWORKSを通じて双方にやり取りをするようになってきました。全職員が1週間に1度は幼稚園の朝の会議に参加し、直接コミュニケーション取る機会も設けるようにしていますので、そこで共有していきます。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名：放課後等デイサービス 多機能事業所 みやのだいSEEDS

対象人数（保護者）2人 回答者数 1人 回収 50%

		チェック項目	総合点	とても 思う	思う	どちら ともい えない	思わな い	全く思 わない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10.0	1					
	2	職員の数配置は適切であると思いますか。	10.0	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10.0	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10.0	1					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10.0	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10.0	1					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10.0	1					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10.0	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10.0	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10.0	1					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8.0		1				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10.0	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10.0	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8.0		1				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10.0	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10.0	1					
	17	事業所の職員から積極的に支援をされていると思いますか。	10.0	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5.0			1			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8.0		1				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10.0	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10.0	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10.0	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10.0	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8.0		1				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10.0	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10.0	1					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10.0	1					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10.0	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10.0	1					

	チェック項目	集計	品	佐野	海野	小寺
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10.0	10	10	10	10
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10.0	10	10	10	10
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7.5	10	0	10	10
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっている か。	9.5	10	10	8	10
	5 必要に応じて、 こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9.5	10	10	8	10
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、 広く職員が参画しているか。	9.5	10	10	8	10
	7 保護者向け評価表により、 保護者等の意向等を把握する機会を設けており、 その内容を業務改善につなげているか。	10.0	10	10	10	10
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、 その内容を業務改善につなげているか。	9.5	10	10	8	10
	9 第三者による外部評価を行い、 評価結果を業務改善につなげているか。	7.5	0	10	10	10
	10 職員の資質の向上を図るために、 研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9.0	8	10	8	10
適切な支援の提 供	11 適切に支援プログラムが作成、 公表されているか。	10.0	10	10	10	10
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、 こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 個別支 援計画を作成しているか。	9.5	10	10	8	10
	13 個別支援計画を作成する際には、 児童発達支援管理責任者だけでなく、 こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、 こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9.5	10	10	8	10
	14 個別支援計画が職員間に共有され、 計画に沿った支援が行われているか。	9.5	10	10	8	10
	15 こどもの適応行動の状況を、 標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、 日々の行動観察なども含む インフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10.0	10	10	10	10
	16 個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「基本支 援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、 こどもの支 援に必要な項目が適切に設定され、 その上で、 具体的な支援内容が設定されているか。	10.0	10	10	10	10
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10.0	10	10	10	10
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10.0	10	10	10	10
	19 こどもの状況に応じて、 個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、 支援が行われているか。	10.0	10	10	10	10
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、 その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、 チームで連携し て支援を行っているか。	10.0	10	10	10	10
	21 支援終了後は、 職員間で必ず打合せを行い、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有してい るか。	9.5	8	10	10	10
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげているか。	9.5	10	10	8	10
	23 定期的にモニタリングを行い、 個別支援計画の見直しの必要性を判断し、 適切な見直しを行っているか。	10.0	10	10	10	10
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動、 多様な遊びや体験 活動、 地域交流の活動、 こどもが主体的に参画できる活動)」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9.5	10	10	8	10
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、 自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9.5	8	10	10	10
関係機関や保護 者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画して いるか。	10.0	10	10	10	10
	27 地域の保健、 医療（主治医や協力医療機関等）、 障害福祉、 保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整 えているか。	9.0	10	8	10	8
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、 こどもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、 トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9.0	10	8	8	10
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、 児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めて いるか。	10.0	10	10	10	10
	30 学校を卒業し、 放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報 を提供する等しているか。	6.7	0	10	10	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、 必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けてい るか。	7.0	8	0	10	10
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、 地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7.0	2	8	8	10
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10.0	10	10	10	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、 こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9.5	10	10	8	10
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、 家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8.0	2	10	10	10
保護者への説明 等	36 運営規程、 支援プログラム、 利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10.0	10	10	10	10
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、 こどもや保護者の意思の尊重、 こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、 こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10.0	10	10	10	10
	38 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	10.0	10	10	10	10
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	9.0	10	8	8	10
	40 父母の会の活動を支援することや、 保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。また、 きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7.5	2	10	8	10
	41 こどもや保護者からの苦情について、 対応の体制を整備するとともに、 こどもや保護者に周知し、 苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	10.0	10	10	10	10
	42 定期的に通信等を発行することや、 HPやSNS等を活用することにより、 活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報をこ どもや保護者に対して発信しているか。	10.0	10	10	10	10
	43 個人情報取扱いに十分留意しているか。	9.5	8	10	10	10
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9.5	10	8	10	10
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、 地域に開かれた事業運営を行っているか。	9.5	8	10	10	10
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、 緊急時対応マニュアル、 防犯マニュアル、 感染症対応マニュアル等を策定し、 職員や家族等に 周知するとともに、 発生を想定した訓練を実施しているか。	7.5	10	2	8	10
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、 非常災害の発生に備え、 定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っ ているか。	9.5	10	10	8	10
	48 事前に、 服薬や予防接種、 てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10.0	10	10	10	10
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、 医師の指示書に基づく対応がされているか。	10.0	10	10	10	10
	50 安全計画を作成し、 安全管理に必要な研修や訓練、 その他必要な措置を講じる等、 安全管理が十分された中で支援が 行われているか。	9.5	10	8	10	10
	51 こどもの安全確保に関して、 家族等との連携が図られるよう、 安全計画に基づく取組内容について、 家族等へ周知し ているか。	9.5	10	10	8	10
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、 再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9.0	10	8	8	10
	53 虐待を防止するため、 職員の研修機会を確保する等、 適切な対応をしているか。	10.0	10	10	10	10
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、 組織的に決定し、 こどもや保護者に事前に十分に説明し了 解を得た上で、 個別支援計画に記載しているか。	9.5	10	10	8	10